

環境負荷低減技術を東洋大学に使用許諾

SDGs達成に向け、

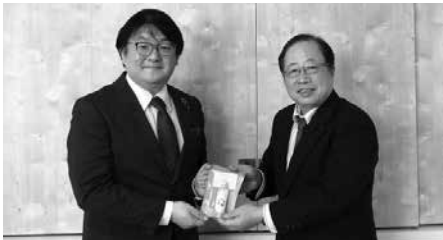
自社技術の外部活用を幅広く推進

資生堂

資生堂は、「WIPO GREEN」データベースに掲載している環境負荷低減技術を、東洋大学の「TOYO SDGs Students Project」に許諾した。

ライセンス締結後、同 資生堂は2020年3月の学生が化粧品企画に「WIPO GREEN」に挑戦し、資生堂の「低エネルギー製造技術」を化粧品業界からパートナー活用するともに、大学企業として参画した。今回が技術の許諾を行った初めの事例となる。

同社では、環境負荷に配慮した製品の研究に長年取り組んでおり、地球規模での環境課題への取り組みが一層重要となる中、これらの解決に「WIPO GREEN」は、2013年に世界的に貢献していく



めには、自社で保有する環境関連技術を広く社会で活用していくことが不可欠と考えている。

「WIPO GREEN」は、2013年に世界的に貢献していく

PO)によって設立された、環境関連技術におけるイノベーションとその普及を促進するための国際的な枠組みであり、2022年2月末時点で世界の130以上の法人がパートナーとして参画している。技術の提供者、解決策を求める法人や個人を結び付け、環境関連技術の普及と環境課題に対するグローバルな連携とイノベーションを促進している。

今回、東洋大学の「SUGOMORI BOI SEN project」と称するSDGsプロジェクト内の環境に配慮した化粧品の企画・開発において、コロナ禍で巣ごもり生活が増えたと言われる若年層世代に向け、

ハンドセラムの企画・開発を行った。

資生堂の「乳化粧品の低エネルギー製造技術」を生産工程に活用するだけでなく、大学周辺地域の活性化も目標に、同大学の板倉キャンパス近くの群馬県館林市の名産品であるポイセンベリから抽出したエキスを配合した。

開発品「BOISEN」は3月23日に行われた同大学の卒業式の日卒業生や大学関係者など約500名に配布された。資生堂グローバルイノベーションセンターにおいて、今回の企画を推進した東洋大学 北脇秀敏教授から、技術知財部部長の木村友彦氏へ開発品の贈呈が行われた。

資生堂は「乳化粧品の低エネルギー製造技術」濃縮化により、製造・運搬のためのエネルギー負荷を低減する技術「優れた洗浄力とすすぎ時の節水の両立を図る技術」など特許権11件(2022年3月時点)を「WIPO GREEN」データベースに登録し、許諾可能であることを表明している。

これらの技術は、渾水や地球温暖化の主な原因の1つであるCO₂排出といった、環境課題解決に向けた取り組みに貢献することから、今後も環境課題解決に向け、社会への貢献性の高い技術を積極的に「WIPO GREEN」データベースに登録していく。

東急電鉄とプラスチック容器リサイクルで実証実験を開始

ユニリーバ

ユニリーバ・ジャパンは、東急電鉄の協力のもと、3月28日から田園都市線南町田グランベリーパーク駅にて、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器の回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験を開始した。

日本は一人当たりの使用捨てプラスチックごみ量が米国に次いで世界2位だが、日本の日用品においては、飲料ペットボトルとは異なり、使用済み容器を素材別に分別回収する仕組みがないことなどから、多くのプラスチック容器が再び容器から容器へとリサイクル

の方法で使用済みプラスチック容器の回収を試みる。

回収された空容器は、再生工場にて処理・加工し、エコグッズなどにリサイクルされる。同時に、プラスチック容器を再び容器へと戻す「ボトルtoボトル」(水平リサイクル)に向けた検討も進めている。



花王の公式 note はじめました。

ユニリーバは「ユニリーバのつめかえ製品を「買ってためる」の2つ

あるいはユニリーバのつめかえ製品を「買ってためる」の2つ

花王

SNS「note」に公式アカウントを開設
大切にしている志や想いを発信

花王は3月14日、SNS「note」に公式アカウントを開設した。これまで伝えきれなかった商品開発の裏側や社員の熱い想いなど、大切にしている志や想いを多くの人々に届けていく。

花王グループは、「未来の命を守る」企業として、社会に欠かすことのできない存在になることを目指している。この考えを、社員個人やチーム第1回のテーマは「化粧品の取り組みを中心としたリサイクル」で、化粧

「#花王のヒト」や、ち

品ボトルにスポットを当てて本当のキレイを考えていく。化粧品事業部門商品事業開発センターの大塚由喜男氏がインタビューに応じ、ボトル容器からボトル容器への「水平リサイクル」の取り組みの概要やそこにかける想いなどを語っている。